

# 大阪市立 池島小学校

所在地 〒552-0015 港区池島2丁目5番47号  
TEL 06-6571-4354  
FAX 06-6572-2489  
校長名 小山 勝一（こやま まさかず）



プロジェクションマッピングより

## 学校の紹介・校長メッセージ

池島小学校では

- いのちを大切に子ども
- けんこうを大切に子ども
- じぶんや仲間(人権)を大切に子ども
- まなびを大切に子ども



の育成に努めています。そのための方策として、  
●教員の得意分野での専科指導を取り入れ、複数の教員で子どもを育てています。  
●低学年から外国語に触れるように、民間企業と連携した外国語活動を実施しています。  
●地域とのつながりを深める活動をしています。  
地域高所への避難訓練、地域協同の交通安全指導、地域のお祭り「池島ふれあい祭り」へのステージ参加  
●「身体的文化資本」の育成に努めています。  
過去実績：文楽鑑賞、能狂言鑑賞、和太鼓体験、歌舞伎鑑賞、文楽鑑賞、雅楽鑑賞、バレエ鑑賞、JAZZ 鑑賞  
車いすダンス鑑賞  
令和7年度：英語落語鑑賞、文楽鑑賞、オーケストラによる演奏鑑賞  
●「表現力」の向上に努めています。  
国語科の研究実践、NHKメディアリテラシー教室参加、毎日放送アナウンサー体験、プロジェクションマッピング作品制作、関西テレビSDG s 学習、漫オワークショップ、池島小学校UPCYCLE プロジェクト

## 運営に関する計画

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にします。
- 校内調査の「災害や防災について、自分にも起こりうる事と考え行動できた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にします。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和7年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を70%、80%以上にします。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にします。

- 国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上し1.00以上にします。
- 「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。
- 「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にします。
- 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にします。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 校内調査の「学習者用端末を活用して発表することができそうですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にします。
- 校内調査の「プログラミング学習は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にします。
- 校内調査の「授業の中で学習者用端末を活用して学習している」の項目（協働学習支援ツール、デジタルドリルを含む）について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%以上にします。
- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にします。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にします。

## ●令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

- 大阪市教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果を公表しないことができるものとしており、本校では平均正答率を含む調査結果は公表しない。
- 算数科では、デジタルドリルや学習ドリルによる日々の学習の成果が表れ、基礎学力が定着してきている。
  - 国語科では、説明的な文章に関する研究を進めてきた成果が表れ、「読むこと」に関する問題の正答率が高くなっている。
  - 全員受検での漢字検定への挑戦は高い合格者を維持している。（R2…79%、R3…75%、R4…58%、R5…61%、R6…65%）

- 放課後学習（池島タイム）での補充学習の設定、文章読解力の向上等に組織的に取り組んでいる。
- 図書館、学級文庫の蔵書数の拡大、図書館補助やボランティアをさらに活用した読書活動の推進に取り組んでいる。
- 子どもの情報活用能力・論理的思考力を高めるためにプログラミング学習の実践をさらに進める。
- 個別最適な学びの保障のため、5分間ドリルとデジタルドリルを併用する。
- 身体的文化資本の育成のために、文化的体験の機会を設定する。

## ●令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

- 大阪市教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果を公表しないことができるものとしており、本校では調査結果は公表しない。
- 外で体を動かして運動に親しむ機会を増やす取り組みとして、教職員が積極的に児童と遊ぶ「みんな遊びの時間」を設けたことや、「大縄跳び月間」「短縄跳び月間」「かけ足月間」の3つの体育活動を行ったことで、多くの子どもが外で遊ぶようになり、普段運動が苦手な児童も積極的に運動する機会につながった。
  - 体育科の授業では、各学年の授業づくりと場づくりを記録し教員同士の情報交流を行っている。（低学年では、ボール

を強く遠くに投げられるよう単元の研究授業を実施。中学年では、リズムよく体を動かすことに重点を置き、準備運動時に音楽に合わせてジャンプをしたり短距離を走ったりしている。高学年では、準備運動後に投げる・走る・上る・跳ぶ運動を取り入れたサーキット運動を取り入れる。）  
●本校独自の個人の体力・運動調査の結果をまとめた記録用紙を配付し、自分の数値を意識することで結果の向上を図っている。  
●今後、柔軟性と瞬発力を向上する運動に重点を置いて指導する。



**身体的文化資本の育成**  
令和7年度は、英語落語鑑賞、文楽鑑賞、オーケストラによる演奏鑑賞の予定です。

**表現力の向上**  
令和7年度は、漫オワークショップ、UPCYCLEプロジェクトの予定です。

